

指定管理施設(総合福祉センター)事業評価表
障害者福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成26年度の実施状況		平成27年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						H26年度	H27年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)		
知的障害者サービス事業	1	がんばろう会 ・家事訓練 ・社会適応訓練 ・創作活動 ・外出訓練 ・スポーツ活動	回数	実施日	ねらい	12	12	43	345	47	406	4	61	・自主的な活動とするため、教室の内容は利用者の話し合いにより決定した。 ・調理実習は、おにぎりやインスタントみそ汁など1人で家庭でも作れるようなものを取り入れた。 ・クリスマスのプレゼントや昼の弁当等をデパート、コンビニなどに買いものに出かけた。 ・切り絵やちぎり絵など、作品展に向けた作品作り等を実施した。 ・鶴舞公園への花見やカラオケ等に出かけた。 ・ピンボウリング・輪投げ・卓球・公園散策などをして参加者間の交流を図った。	
			43	毎週月曜日 第4月曜 午後を除く	仲間の話し合いにより教室の内容を決めていく。 ・買物を実施し、食の大切さを知るとともに、簡単な作り方を覚え、家庭でできるようにする。 ・社会のルールを体験する。 ・通常の事業として仲間作り、創作活動・レクリエーション等を実施。 ・屋外活動の体験をする。 ・スポーツを通じて体力増進を図る。										
		小計	43	—	—	—	—	43	345	47	406	4	61		
		回数	実施日	ねらい	11	11	11	54	11	69	0	15	・1年を通して講師の指導で実施。 ・レクリエーション的な要素を増やし、楽しく体を動かせるようになった。		
		11	隔週第2月曜日 午後	・体を使って、自分の中にあるエネルギーを思いっきり発散する。 ・同じ目的に向かって仲間と行動する。 ・みんなに観てもらうことで達成感を得る。											
		小計	11	—	—	—	—	11	54	11	69	0			15
		計	54	—	—	—	—	54	399	58	475	4			76
視覚障害者サービス事業	1	視覚障がい者対象卓球教室	回数	実施日	ねらい	11	11	12	45	12	44	0		△1	・ボランティア講師の指導で実施した。 ・視覚障がい者の方にとって、良い運動の機会になっている。
		サウンドテーブルテニス	12	毎週水曜日 午前(第4週を除く)	スポーツを楽しむ機会の少ない視覚障がいのある方が、仲間と一緒に楽しんで健康の維持増進を図る。										
		小計	12	—	—										

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成26年度の実施状況		平成27年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
						H26年度	H27年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)			
(続き)	1		回数	実施日	ねらい	12	12	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	概ね月1回は買物、公園散歩、食事と外出を行った。 ・視覚障がいのある方には、良い外出と交流の機会になっている。 ・利用者がそれぞれの楽器を持ち、音楽の演奏を行う計画も進んでいる。		
		かがやき ・買物等外出 ・家事訓練 ・創造的活動等	26	第2水曜午前第4水曜1日	視覚障がいのある方の社会参加、仲間作り、精神的安定を図る。			26	199	24	197	△ 2	△ 2			
		小計	26	—	—			—	—	26	199	24	197		△ 2	△ 2
		計	38	—	—			—	—	38	244	36	241		△ 2	△ 3
重度身体障害者デイサービス事業	1		回数	実施日	ねらい	11	12	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・利用者、家族共に高齢化が進んできており、相談支援事業所と連携をしながら進めていくことが重要となってきている。 ・利用者全体で教室の内容を決めているが、教室全体の運営を利用者の責任で行えるよう徐々に変えていくよう取り組んでいる。		
		ふれあい教室 ・個別指導 ・社会適応訓練 ・家事訓練 ・創作活動等	51	毎週木曜日	・重度心身障がい者及び重度重複障がい者が、ボランティア・職員とともに自己実現に向け話し合い実現していく。 ・意欲と能力に応じて、生き生きとした生活を送れるよう支援する。 ・自立支援や仲間作りをする。			51	649	53	618	2	△ 31			
		小計	51	—	—			—	—	51	649	53	618		2	△ 31
		計	51	—	—			—	—	51	649	53	618		2	△ 31
デイサービス事業(創造的活動)	1		回数	実施日	ねらい	12	12	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・利用者のはげみとなるよう、文芸祭等いろいろな作品展に出品したとともに、今後も多くの作品展に出品していく。		
		俳句教室	23	第1・3火曜午前	自分の気持ちを俳句で表現することにより、自分を見つめ直す事を目的とする。			23	229	22	194	△ 1	△ 35			
		絵手紙教室			送る相手の事を思いながら、いろいろな画材を使って描くことにより、相手と自分に思いやる心を育てる。					11	90	11	90		・中断していたが、利用者から要望があり、新しい講師の指導により再開した。	
	切り絵教室	24	第2・4金曜午前	自由に切り絵を描くことにより、自分の気持ちを表現する。また、指先のリハビリにつなげる。	12	12	24	226	23	179	△ 1	△ 47	・特別な講師はなく職員が対応。 ・利用者同士や職員と和気あいあいと行う。 ・長年続いている教室のため利用者の技術も向上している。			

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成26年度の実施状況		平成27年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H26年度	H27年度							
デイサービス事業（創造的活動） （続き）	1	ちぎり絵			誰でも参加できる簡単な画材から始め、表現力と指先のリハビリにつなげる。	-	13			11	96	11	96	・講師の体調不良で26年度は実施せず、27年度よりボランティアと職員の指導により再開した。
		サロンAM	10	第4火曜日	簡単にできる食べ物を作り、自立生活を促進する。	12		10	78					・27年度から内容を充実させるため午後の半日とした。
		サロンPM	10	第4火曜日	利用者の話し合いで内容を定める事により、自主性と協調性を養う。	12		10	120	12	95	△ 8	△ 103	
		買物	12	第2火曜日 午前	日頃買物に出る事が困難な方に買物が出来る機会を提供する。	12	12	12	218	11	56	△ 1	△ 162	・利用者の時間の過ごし方に疑問がでてきたため、平成27年度からは近隣のスーパーに行くこととし、買物だけを目的とした半日の事業とした。
		小物づくり	11	第2・4火曜日 午前	がんばろう中心のメンバーで手先を使う事により、脳の活性化を促進する。	12	-	11	77			△ 11	△ 77	・27年度からちぎり絵教室に変更。
		水墨画・習字教室	23	第1・3金曜日 午後	ハンディがあっても行動する大切さを教室を通じて先生から学ぶ。	12	12	23	170	22	159	△ 1	△ 11	・月2回の開催日を、習字、水墨画どちらでも行える事とし利用者のニーズと人数の確保に努めた。
		小計	113	-	-	-	-	113	1,118	112	869	△ 1	△ 249	
デイサービス事業（身体維持等）	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		音楽療法	23	第1・3火曜日 午後	精神的安定と嚥下機能の向上。	12	12	23	278	22	248	△ 1	△ 30	・障がいの種別を問わず参加できるため、障がいを超え交流できている。発表の場をすることでやる気と自信を養っている。
		3B体操	12	第2火曜日 午前	楽しく運動機能の維持を図る。	-	13			12	107	12	107	・体を動かす教室のニーズが高まりつつあり、軽度で楽しく出来る3B教室を開催した。
		風船バレー	23	第1・3金曜日 午前	楽しみながら身体を動かし、運動不足の解消と身体機能の維持を図る。	12	12	23	198	24	186	1	△ 12	・楽しみながら体を動かせる教室になっている。時々、白熱しすぎる事もあるほど好評である。
		機能訓練教室(軽スポ)	24	第1・3水曜日 午後	理学療法士の指導のもと、専門的に身体機能の維持を図る。	13	12	24	258	22	234	△ 2	△ 24	・ゲーム感覚で楽しい中にも理学療法士のプログラムによる専門的な内容となっている。 ・安定的に人気のある教室になっている。

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成26年度の実施状況		平成27年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					H26年度	H27年度								
(続き)	1	ヨガ教室(イス)	24	第2・4金曜 午前	自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。車椅子の方やマットに寝れない方にはイスを使用して行う。	13	12	24	233	24	172	0	△ 61	・27年度の利用者が減っているが、病気等で利用できなかったもの。利用者には好評である。
		ヨガ教室(マット)	24	第2・4金曜 午後		12	12	24	182	24	170	0	△ 63	
		小計	130	—	—	—	—	118	1,149	128	1,117	10	△ 83	
障害者センター事業			回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
	1	障がい者レクリエーション交流会	1	6月8日	誰でも参加できる軽スポーツで障がい者、介護者、ボランティアの交流を図る。	13	12	1	104	1	86	0	△ 18	・年に一度集まる行事として、障がい者団体の会員の良い交流の場になっている。
	1	障がい者バスツアー	2	7月6日 3月1日	日ごろ外出する機会の少ない障がいのある方に、外出する機会を提供し、家族や友人、ボランティアさんと一日楽しく過ごす。	12	12	2	76	2	72	0	△ 4	・利用者に好評のため、25年度より年2回実施にする。 ・バスツアーを趣向の違う形で年2回実施し、好評であった。
	2	果物がり	1	10月4日	季節の移り代わりを感じ、外出する機会と仲間作りを推進する。	14	14	1	21	1	21	0	0	・岡崎観光農園にぶどう狩りに行き、利用者大変好評であった。
	2	単発教室	3	12月30日 7月29日	通常のセンター利用者だけでなく、広く市内全体に公募し啓発と利用者拡大をはかる。	13	14	3	22	4	37	1	15	・通常の教室の予定のない第5週と土曜日にソバ打ち、園芸、ネイル教室を開催した。
	2	障がい者団体意見交換会	1	5月23日	各障がい者団体と意見交換をし、事業の参考にする。	12	12	1	9	1	14	0	5	・各障がい者団体の近況報告、障害者センターの事業を紹介し、協力を依頼した。
	2	講師、ボランティア意見交換会	1	3月29日	講師、ボランティア、職員の意見を交換し事業の向上をめざす。	12	12	1	12	1	12	0	0	・講師やボランティアの意見を聞く良い機会となっていると共に、講師、ボランティア、職員の良い交流の場となった。

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		平成26年度の実施状況		平成27年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					H26年度	H27年度								
障害者センター事業（続き）	2	土曜教室(フレンド)	月1回	第3土曜	障害者事業所を利用して いる方の余暇活動と仲間 作りの機会を提供する。	14	14	12	46	12	75	0	29	・利用者も徐々に増えつつあり、登録人数は20 人を超えた。
	1	交流事業	5	随時	他施設との交流。	14	14	5	38	4	24	△ 1	△ 14	・優が丘、なごみの杜かささはら、太平デイサー ビスセンター、母子父子福祉センター等と交流 した。
	1	季節行事 (七夕、節分)	2	7月2日～8 日 2月2日	伝統、文化の継承と利用 者の話題作り。	12	13	2	25	2	34	0	9	・自分の願いごとを短冊に書くことにより、自分 が何を求めているか見つめ直す事が出来た。
	1	クリスマス会	1	12月21日	楽しみ作り及び仲間作 り。	13	13	1	10	1	15	0	5	・啓発活動を行い、参加者を増やすことができ た。
	1	リハビリ指導	91	毎週水・金 曜日	鍼灸マッサージ士による マッサージの身体リハビ リ	13	12	91	644	80	529	△ 11	△ 115	・主に水、金曜日の午前の教室の利用者が対 象となっている。 ・利用者拡大のため広報で紹介したが、あまり 効果が上がらず、今後の課題である。
			小計	108	—	—	—	—	120	1,007	109	919	△ 11	△ 88
厚生相談	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・一般相談は減少傾向にある。 ・障害者センター利用者の生活相談、悩み相 談、行政への手続きの相談は依然多い。
		一般相談	36	随時	障害者の相談を聞き、よ りよいサービスにつなげ るとともに精神的安定を 図る。	12	12	36	36	22	22	△ 14	△ 14	
		小計	36	—	—	—	—	36	36	22	22	△ 14	△ 14	
啓発活動	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	福祉や障がい者への関心を持てるよう、幼稚 園、保育園、児童センター、学校等の児童、学 生の体験講座を重点的に行った。
		福祉体験	11	随時	福祉体験、福祉講座を行 うことにより、障がい者へ の理解を深めてもらおうと 共に将来の福祉人材育 成のきっかけを作る。	12	13	11	374	14	580	3	206	
		小計	11	—	—	—	—	11	374	14	580	3	206	
		計	541	—	—	—	—	541	4,976	532	4,841	△ 9	△ 186	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。